

## 夏の定番！ 「がみせ祭」の打ち上げ花火

### ●主な内容●

夏イベント	2
剣道大会	3
防災訓練	5
地域づくりインターン	6
村づくり塾	17

### 川上宣言

一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。)



# in かわがみ

**迫**



## かみせ祭 (8月5日)

川上村の夏といえばコレ！当日は朝から雨がふったりやんだりのお天気で開催が心配されましたが、夕方からはお日さまも出てきて絶好のお祭日和となりました。今年も村内外から大勢の人が集まり、「ちびっこ龍幻」の太鼓や豪華景品をかけたビンゴ大会、新企画の「かみせブランド〇×クイズ」や盆踊りなど、大いに盛り上がりました。フィナーレを飾ったのは、かみせ祭の代名詞ともいえる打ち上げ花火。間近で打ち上がる大迫力の花火は今年も健在です。観に来た方に話を伺うと「これ観るため今年も来ました。さすがの迫力ですね。また来年も来ます」と満足そうに話してくれました。



**東川**



## 東川盆踊り (8月15日)

東部地区の盆踊りから3日後の15日(火)には、烏川神社(東川)にて東川盆踊り大会が開催されました。会場が神社という少し変わった雰囲気の中で、太鼓と生唄での盆踊りに皆さん夢中で踊っていました。焼きそばや焼き鳥などの屋台は地元の人たちの手作り、昔ながらのあたたかい盆踊りに、ほっこりした気持ちになりました。また、今年も海外から国際ボランティア協会の方たちが参加され、日本の夏の文化を堪能してもらえたのではないのでしょうか。

**北和田**



## 東部地区盆踊り (8月12日)

12日(土)には、ふれあいセンター下の駐車場にて、第5回目となる東部地区盆踊り大会が開催されました。北和田・上多古・柏木・白川渡の4区の後援で行われるこのお祭りは、毎年子どもたちの声がよく目立ちます。今年もスーパードールすくいやかき氷など、子どもたちの喜ぶお店が満載でした。

# 夏のイベント2017

**高原**



## ちゃんごかんご (法悦祭) (8月15日)

東川盆踊りと同日、高原では1200年以上の伝統がある「ちゃんごかんご」(法悦祭)が行われました。悪疫退散・作物豊穰を願い、天井から縄でつるされた大きな太鼓を叩き、鐘を打ち鳴らします。「ホーエイサー」の掛け声が始めると太鼓のリズムが変わり、みんなで太鼓のまわりを周りはじめます。そして次の瞬間みんなで100kgはあろうかという太鼓を担ぎ上げ、御堂の中を豪快に回します。初めて見る方には衝撃的な光景かもしれません。まだまだ見たことのない方、来年はぜひご覧になってみてください。

ホーエイサー!  
ホーエイサー!



ここから...

ホーエイサー!  
ホーエイサー!



こうなって...



こんなになりました!



少しさかのぼって11日(金)〜12日(土)には、白川渡オートキャンプ場にて、本村と観光協定を締結しているJAF主催のオートキャンプフェスタが開催されました。当日はあいにくの曇り空でしたが、大勢の来場者でにぎわいました。アマゴつかみやワークショップ、キャンプファイヤー、ペルセウス座流星群鑑賞会などの様々なイベントが催され、来訪者を楽しませてくれました。子どもたちは源流の村で、夏休みのいい思い出を作れたのではないのでしょうか。

## オートキャンプフェスタ (8月11~12日)

**白川渡**



無心の境地を求めて

「第15回記念川上村剣道交流大会」



8月20日(日)、川上武道場(北和田)にて川上村剣道交流大会が開催されました。今年は第15回の記念大会として、試合前日の19日には高段者による「立ち会い演武」も行われました。

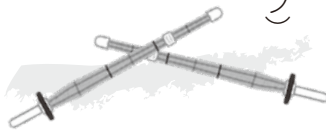
今大会には県内外から529名もの剣士たちが集い、日頃の鍛練の成果を存分に発揮しました。大会会長である栗山村長からは「この水源地の村で夏休みの思い出を作るとともに、日頃の成果を存分に発揮してほしい」とあいさつがありました。

その後試合に先立って、上垣功先生と松本博行先生による公開演武として日本剣道形が披露され、緊張した空気のなかで見事な太刀筋をみせてくださいました。試合が始まると、会場内は選手たちの熱気に包まれて、非常に高温となりましたが、みなさん気迫のこもった俊敏な技の数々を繰り広げてくれました。

閉会式後には記念のお餅まきが行われ、大いに盛り上がりました。

各杯受賞者(敬称略)

- ◆知事杯  
井上賢史郎(奈良西少年剣道クラブ)
- ◆村長杯  
坂下 海晴(中之島少年剣道クラブ)
- ◆議長杯  
西川 愛梨(紀見少年剣道クラブ)
- ◆教育長杯  
乾 さくら(南十津川少年剣道クラブ)
- ◆吉野署長杯  
市来 煌(埼玉越生錬成会)
- ◆吉野署長特別賞  
香西 凌雅(桜井剣道クラブ)
- ◆小林利通杯  
菅 隼人(川上源流館)
- ◆丹生川上神社上社杯  
倉富 哲志(南港剣友会)
- ◆特別賞  
竹下 友菜(西三鷹宗武館)
- 小角 輝樹(鴻ノ池道場)



公開演武を行う上垣 功先生(写真奥)と松本博行先生(写真手前)



敢闘賞の菅 直子さん



小林利通杯の菅 隼人くん

川上源流館からは、一般女子初段以下の部において菅直子さんが敢闘賞として入賞し、また常日頃から精進を欠かさず、立派な試合を見せた剣士に贈られる「小林利通杯」が菅隼人くんに贈られました。

お2人には今後も日々の精進を怠らず、剣の道を究めていってもらいたいと思います。

## 村内一斉防災訓練を実施

9月2日(土)、村内全域にて防災訓練が実施され、村民約700人が参加しました。

昨年4月の熊本地震をはじめとして全国各地で地震・豪雨災害が多発し、また近い将来「東南海・南海トラフ地震」の発生が懸念され、行政や住民の防災体制の強化が求められています。そんな中防災関係機関の参加と住民の協力を得て防災訓練を行うことにより、連携体制の強化と共に、住民一人一人が「何をすべきか」を考えて防災意識の向上を図ることを目的として、今回の訓練は実施されました。

また訓練終了後は、指定避難所である総合センターやまぶきホール(宮の平)にて、吉野消防署の職員による消火器の使用方法的講習と、奈良県防災士会理事の大北容子氏を講師に迎えての防災講演会が実施されました。

当日は、午前8時30分の防災無線による緊急地震速報の放送と共に訓練が始まりました。役場にて災害対策本部が設置され、職員は地区調査員として各大字の避難場所等を巡視し、消防団と連携して本部へ避難・被害状況を報告しました。また、指定避難所である総合センターではアルファ米を使った非常食の炊き出し訓練を実施し、避難してきた村民に配られました。村民、消防団員、役場職員がそれぞれ協力して迅速に行動した結果、訓練は滞りなく終了し、皆さんの防災意識の高さがうかがえました。その後、やまぶきホール前広場



避難所の様子 (井光区公民館)



消火器訓練の様子

にて、吉野消防署の職員指導のもとで消火器の使用方法的講習が行われ、参加した人たちは、しっかり手順を教わりながら訓練を行いました。消火器にて自主消火を行う際は、「火が自分の背丈より大きい場合は、消火作業よりも自分の身の安全を第一に考え、すぐに避難する」ことを忘れないでください。

またやまぶきホールでは、講師の大北氏による「災害・防災における備え」についての講演が行われ、多くの村民が参加しました。大北氏は「一見当たり前に思えることを日頃からしっかりしておくことで、いざというときの備えになる」

と話されました。具体的には、  
・ 笛(自分の位置を伝える手段)  
・ 懐中電灯

・ ひもで締める安全靴  
・ 500ml程度のペットボトルの水  
・ 大きめのハンカチ

などを就寝の際に枕元に置いておくこと。また普段から、トイレトペーパーや缶詰(タンパク質)などの備蓄を意識しながら買い物を行うことも重要で、少しずついいので備えていってほしいと語ってくださいました。

今後、村としては、9月1日付けで着任した大前危機管理監を中心に、防災計画にのっとった避難行動の周知や、各大字ごとの自主防災組織の拡充など、危機管理体制のさらなる強化を推し進めていきます。



「次の世代や子孫に伝えてほしい」と話す大北理事

今までと違う新たな自分を求めて

「地域づくりリインターンシップ2017」

8月10日〜23日の2週間、川上村地域づくりリインターン事業に大学生2名が参加し、村に滞在しました。この事業は、地域住民との交流や村でのさまざまな体験を通じて川上村に関心をもち、その後の人生に生かしてもらおうことを目的として、平成10年から実施しています。学生たちは、かわかみらいふでの宅配・移動販売ややまいき市の手伝い、林業体験や源流の森トレッキング、盆踊りなどに参加し、最終日には2週間の経験を今後の自分にどう生かすかという「ネクストアクション」を発表しました。



近畿大学 社会学部  
総合社会学部  
まつした まさひろ  
松下 菜

この2週間は自分にとってとても刺激的なものでした。自分の興味をさらに深めるきっかけにもなりましたし、たくさんの新しい知識を学ばせてもいただきました。また自分の気持ちを伝えたり、思いをつなぐということの重要性も学ぶことができました。

2週間出会えたすべての方に感謝しています。ありがとうございました。



奈良女子大学 生活環境学部  
くわはら ゆい  
桑原 湧

星空、透명한川の水、原生林、森の木々：川上村ではパワーの源となるものにたくさん出会えました。これらを受け継いでいくために、自分に何ができるのかこれからも考えたいと思います。

また、自分の大きっぱなところ誇りが持てるようになって、以前より行動的になり、変わったねと家族に言われます。

村に来て本当に良かったです。ありがとうございました！



## 木匠塾サマースクール

今年で20周年という節目の年を迎えた川上村木匠塾。恒例のサマースクールが8月18日〜24日にかけて開催されました。今年は近畿圏内の5大学から計67名の学生が参加し、杉の湯隣接の遊歩道にベンチを、白川渡オートキャンプ場にモニュメントを制作しました。

また、今月9日からは木匠塾20年の軌跡を総合センター1階ロビーにて展示し、17日にはやまぶきホールにて川上村木匠塾20周年記念式典を行います。



遊歩道でのベンチ製作

オートキャンプ場でのモニュメント製作



## 親子文化鑑賞会

8月22日(火)、総合センターやまぶきホール(宮の平)にて、川上小学校の親子文化鑑賞会が行われました。劇団民話芸術座による民話劇「鬼の小づち」が演じられ、家族や友だちを想い気遣うことの大切さを教えられました。

また劇には川上小学校の児童代表として、4年生の中居穂希さんが「お雪」役で出演し、立派に役を演じきりました。

終演後に感想を聞かれると、「セリフや動きを覚えるのが大変だったけれど、とても楽しかったです」と答えてくれました。



お雪役の中居穂希さん(写真中央)

## 清流

先日久し振りに「三之公」の祠へ行ってきた。祠にはユニークな自然木を利用した「山の神」が祀られており、お参りをした。この森は川上村が購入した天然林で面積は740ヘクタールもあり、人の手つかずの森から一滴の水が流れて清流となっている。

私が広報かわがみ編集委員会をつとめはじめて早いもので十四年、皆さんに大変お世話になりました。一番の思い出は、「三之公」からスタートして目的地「紀の川」の河口まで158kmを歩いたことである。

平成16年9月15日、秋晴れの中「三之公」山の神に、道中の安全を祈り出発。大迫ダムに架かる入之波大橋を渡り、湖面を楽しみながら歩を進めて大迫ダムに着く。農水省が管轄するダムの中を、広報の取材のため特別に見学させて頂いた。

また下流の大滝ダムでは、当時の建設省職員の皆さんの案内で見学することができ、改めてダムの大きさに圧倒された。

吉野町では、国産紙の福西さん宅で昔ながらの和紙作りを鑑賞。五條市では、天誅組が挙兵した桜

井寺、乾十郎の屋敷跡などを、伯母谷の天誅窟とかさね合わせて楽しんだ。

和歌山県かつらぎ町では、川上村柏木から流れ着いた「薬師如来像」が、大谷地区の「柏木神社」で丁寧に祀られていて不思議な縁を感じた。

また真田幸村公が隠棲したところとして有名な九度山では、寺院の門や瓦に真田の家紋である六文銭が刻まれていて、大変興味深く見学させて頂いた。

平成18年1月に全員元気で和歌山港の河口に到着した。途中では各市町村の皆さんにご親切にガイドをしていただき感謝している。

尚「川上村昔ばなし」の取材でも各大字の方々には大変お世話になった。入之波地区の「河童のガタロウ」から始まり、ほのぼのとした話や、小学生の皆さんの挿絵が話を引き立てて素晴らしい本になった事は私の最高の思い出である。

ありがとうございました。

浦本 政一



川上村昔ばなし

吉野川紀の川流域散歩



**「頑張ります！」  
栗出です」**

“生涯現役”を貫き、元気に長生きしたいという夢を实践された医師・日野原重明さんが先月、105歳で亡くなりました。

生前、「年をとること自体が未知への世界に一步ずつ足を踏み入れていくこと、こんな楽しい冒険はない」「死とは生き方の最後の挑戦」など、数々の名言を残されています。

特に印象深い言葉は、彼の座右の銘でもある「人は創めることさえ忘れなければ、いつまでも若くある」。100歳を超えてもなお、チャレンジ精神を大切にする彼の姿勢は凄いの一言に尽きます。また、医師として「患者と対等

に接する医療」を实践し、医学界にも多くの足跡があります。

とりわけ大きな実績は、70年代に成人病と呼ばれていた脳卒中や心臓病などを「生活習慣病」と名付け、いかにふだんの生活習慣が大切かを私たちに気付かせて、病気の予防につなげようと提唱されたことです。

日野原重明さんの行動とメッセージは、今日の日本の高齢化社会に大きな影響を及ぼし、老いをけちらし勇気と元気を届けてくれたように思います。

今月18日は「敬老の日」です。21日の老人大会には、皆さんこぞって参加していただき、川上村のお年寄りの“元氣”を見せていただけることを楽しみにしています。

**村内の絶景ポイント**

**を募集します！**

～あなたのナイスの景色をお教えてください～



村内の「あなただけが知っている地域の宝」としてビューポイント（美しい景色）を募集します。写真がなくても結構ですので、あなただけが知っているお勧めの景色をお教えてください。いただいた情報を元に、村のビューポイントを選びたいと考えています。

**募集期間** 10月31日（火）まで  
**対象地域** 村内全域

**【問い合わせ先】**

地域振興課 Tel 52-0111



こんにちは、かわかもん2年目のマタレーゼ・エリックです。昨年の夏祭を初めて経験し、秋からオイデ新聞を作り、毎週のやまいき市（朝市）でバタバタしながら、川上村での1年目が閃きのよう過ぎました。柿の葉寿司やかきもちや火打ち餅を食べたりしながら、徐々に人との付き合いが生まれ、面白い話をたくさん聞かせてもらいました。そして、私は村外の人と村の話をしたら、自分の気持ち盛りがり、その熱さが相手に伝わっているような気がします。

**かわかもんがゆく。**

— 地域おこし協力隊活動記 —



今年、「上流の日々 Issue #1」というバイリンガル短編小説を作りました。30ページほどの冊子ですが、日本人の隣に同じ内容の英文があります。今回は初めての出版でしたが、反応が良くてまた続編を作りたいと考えています。今後、翻訳・通訳の仕事を受けながら、オイデ新聞や新たな冊子やイベントによって川上村で新たな交流を広げていきたいと思えます。（マタレーゼ・エリック）



こんにちは  
保健師です



健康寿命をのびましょう！

9月は「健康増進普及月間」です。自分らしく楽しい生活を続けるためには、生活習慣病を予防し、健やかな生活を送ることが大切です。そのためには「適度な運動」「適切な食生活」「禁煙」をおすすめします。

① 適度な運動

苦しくならない程度のはや歩きは、立派な運動です。村内では自主的に運動を続けているグループがあり、ストレッチやタオル体操などを行っています。「何から始めたらいいのかわからない」という方は、そういった場所に参加されるのも一つの方法かもしれません。関心のある方は住民福祉課までお問い合わせください。

② 適切な食生活

1日350gの野菜を食べることがすすめられています。350gの野菜とは、およそ両手に3杯分です（ $\frac{1}{2}$ は緑黄色野菜）。また、生野菜よりも温野菜だと食べやすくなります。ただし、イモ類は野菜ではなく米や麺類と同じです。で、気を付けてください。

③ 禁煙

タバコを吸うことは、健康を損なうだけではなく、肌の美しさや若々しさを失うことにもつながります。また、本人だけではなく、周りの人にも悪影響を与えます。特に育ち盛りの子どもは影響を強く受けます。

健康寿命を伸ばすためとはいえ、生活のすべてを変えることはなかなか難しいことです。「野菜から食べる」「ご飯をかむ回数を意識する」「歯を磨きながら体操をする」など、ご自身に合った方法で少しずつ変えていきましょうか？

【問い合わせ先】

住民福祉課（保健師）

Tel 52・0111

のびっ子広場

「絵本を楽しもう」

お話の会 零

と き 10月11日（水）

午前10時～11時30分

持ち物 お茶・タオルなど

【問い合わせ先】

やまぶき保育園 Tel 52-0019

住民福祉課 Tel 52-0111

「国民年金保険料の免除期間」「納付猶予期間」がある方へ

国民年金保険料の免除（全額免除・一部免除・法定免除）、納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金（65歳から受けられる年金）の受け取り額が少なくなります。

将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、免除等これらの期間の保険料については、10年以内であれば遡って納める（追納）ことができます。

ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3年目以降の追納の場合、当時の保険料額に一定の加算額が上乘せされます。追納は、古い月のものから納付することとなりますが、次の点にご注意ください。

◎一部免除を受けた期間は、納付すべき保険料が納付されていない場合は追納はできません。

◎「法定免除・申請免除期間」が「納付猶予・学生納付特例期間」より先に経過した月分がある場合は、どちらを優先して納めるか本人が選択できます。

【問い合わせ先】

大和高田年金事務所 Tel 0745-22-3531

住民福祉課 Tel 52-0111

第10回特別弔慰金請求  
がまだ済んでいない方へ

現在、戦没者等の遺族に対する第10回特別弔慰金の請求受付を行っています。戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成27年4月1日において「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方がいない場合に、支給されます。

請求の際には、請求者の個人番号の通知カードまたは個人番号カードなどの提示による番号確認および本人の身元確認が必要となります。

★支給対象者

- ① 弔慰金の受給権者
- ② 戦没者等の子
- ③ 戦没者等の父母・孫・祖父母・兄弟姉妹（戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入り替わります。）
- ④ 上記①から③以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪など）で戦没者等の死亡時まで引続き1年以上の生計関係を有していた方

★支給内容

額面25万円（5年償還の記名国債）

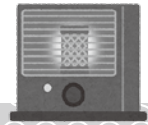
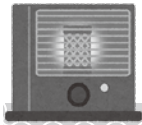
★請求期限

平成30年4月2日まで

【問い合わせ先】住民福祉課 Tel 52-0111



# かわかみらいふ通信



## 冬支度はぜひ「かわかみSS」で!

まだまだ残暑厳しい毎日ですが、日暮れも徐々に早まり少しずつ秋のおとずれを感じるようになってきました。そろそろ冬に向けて灯油の準備を始めませんか。

### 灯油配達キャンペーン開催!

期 間： 9月25日(月)～10月31日(火)

月・火は武木～入之波の方  
水・木は東川～井戸の方

**配達料5円が無料!!**

この機会にぜひご利用ください!

【問い合わせ先】かわかみSS Tel 52-0715

店長：いわた スタッフ：かめい・うえひら



### かわかみらいふ「1周年大感謝祭」のお知らせ

「衣料品500円均一」や「大特価での食料品販売」など

詳しくは10月号のらいふ通信でお知らせいたします。お楽しみに!

【問い合わせ先】かわかみらいふ Tel 54-0521



最近ではスマートフォンのLINEを通じて畑の話をしたり、夏祭りの写真を送り合ったりと、私も楽しくコミュニケーションをさせてもらっています。スマートフォンが外出やおしゃべりのきっかけになれば嬉しいです。

ジをもたれることが多いですが、今回の教室ではスマホを持つことが目的ではなく、家族や友人、保健師とのコミュニケーションツールの1つとして、また万歩計機能を使った健康増進を目的としています。

みなさんこんにちは!かわかみらいふ保健師の本です。  
7月28日から9月1日の間で計4回、ふれあいセンター(北和田)で高齢者の方を対象とした「生活支援スマホ教室」を開催しました。初心者からある程度使える方まで、みなさん悪戦苦闘しながらも終わらわいと楽しい教室でした。  
スマートフォンという「難しい」というイメージ

### ふれあい保健師日記



# 図書館だより

**川上村立図書館は開館15周年!**

## 9月は防災月間です

9月1日の防災の日を中心に、各地で防災訓練などが行われます。身近な本で、防災の知識を確認しておきましょう。

### 『ママのための防災ハンドブック』

国崎信江/岡部朋子 監修 (Gakken)

とっさの時、まずは何をすればいい? とりあえず持ち出すものは? 子ども、両親を守るのはもちろん、ペットはどうするの? そんな、いざというときの情報が満載です。家族のことを細かく気づかうママならではの目線で、日頃の備えを!



### 9月9日(土) 新図書館システムがスタート!

- ・ 図書館ホームページから、本の予約ができます!
- ・ 関心のあるキーワードをあらかじめ登録しておく、そのキーワードに関連する新着資料があったときに、メールにてお知らせします。

(メールアドレスの登録が必要です)

詳しくは図書館までお問い合わせください。

### 図書館 DE トーク!!

今月は図書館の新システムスタートに伴い、ご利用にあたってのご説明、ご質問の時間にいたします。図書館を便利に使いたけれど、どうしたらいいの? 図書館って初めて行くけど、どんなところかな? そんな疑問に図書館員がお答えいたします。

**とき** 9月20日(水) 午後1時30分~

**ところ** 図書館

### 川上村立図書館開館15周年記念講演のお知らせ

村民の皆様に支えられ、川上村立図書館はこの10月で開館15周年を迎えます。

これを記念し、10月は図書館に親しんでいただけるイベントを行います。

特に和歌山大学学術情報センター 図書館長の渡部幹雄先生による、地域の人々と築く図書館の在り方についてのご講演は、これからの村づくりの大きなヒントとなるでしょう。

ぜひ、お越し下さい!

**とき** 10月21日(土) 午後1時30分~

**ところ** やまぶきホール2F 研修室

※詳しくは10月号の図書館だよりをご覧ください。

**【問い合わせ先】** 川上村立図書館 TEL 52-0144

### 図書館カレンダー

● 色の日が休館日 ●

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
9	3	4	5	6	7	8
月	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
						30

日	月	火	水	木	金	土
10	1	2	3	4	5	6
月	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			



### 川上村

郷土資料の紹介

### 「奥吉野の地名」

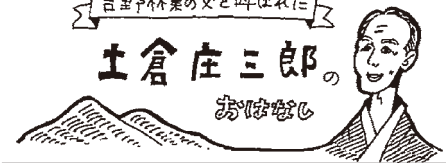
岩野和彦 著 (奥吉野研究会)

吉野郡の旧10ヶ村の字地名だけを一冊にまとめた資料で、川上村の字地名も収録されています。各村の村史を参考に著されていますが、著者独自の視点で地名の由来を考察している部分もあります。著者は「地名とは、その時代背景を残した村民の歴史を物語るもの。生まれ故郷の地名のいわれを覚えていただきたい。」と記しています。

吉野林業の父と呼ばれた

### 土倉庄三郎

おぼろし



毎日新聞の地域面に「大和森林物語」と題され、奈良の森を巡る物語が掲載されているのをご存じでしょうか。連載をしている森林ジャーナリストの田中淳夫さんが、最初のテーマに選んだのが土倉庄三郎翁です。新旧の写真を変えて筆者が語る、土倉翁の軌跡を改めて追ってみてはいかがでしょうか。8月22日現在で連載は第5回まで進んでおり、原則として隔週火曜日掲載です。図書館で資料を展示しています。

～樹と水と人の共生・川上村の情報～



# かわがみ満足ガイド



## 匠の聚

### ●奈良の伝統工芸「一刀彫」講座

匠の聚で一刀彫の魅力を体感してみませんか。  
一刀彫工房であるアトリエを解放して、作品づくりを楽しく丁寧にサポートします。

テーマ／「葵の上」を彫る

講師／木彫・松本一平

と き 9月21日(木)、  
10月5日(木)、19日(木)、  
11月9日(木)、24日(金)、  
12月7日(木) 計6回

じかん 各回午前10時～午後3時

ところ 匠の聚アトリエ (工房鐵山)

申込み 9月19日(火)まで (先着8名)

料 金 20,000円 (税・材料費込)

### ●「匠の聚フォトコンテスト作品募集！」

※ご応募締め切りが迫っています。

川上村の情景～あなたが捉える川上村の魅力～と題し、心動かす作品を広く募集いたします。自然風景や動・植物などのネーチャーフォト部門、また人々の暮らしや催事、文化や歴史など時代や社会が写し出されているドキュメント部門があり、1人何点でもご応募が可能です。写真をとおして川上村の魅力を大勢の方にお届けしたいと考えています。どしどしご応募ください。

締 切 9月30日(土)

発 表 10月下旬

応募用紙 (自作可) に必要事項を明記の上、作品裏面に貼付のうえ匠の聚までご応募ください。応募用紙は匠の聚ホームページからダウンロードすることも可能です。

【申し込み・問い合わせ先】

匠の聚 Tel 53-2381

## ふるさと市開催日

【9月】10日・16日・17日・18日・23日・24日

【10月】1日・7日・8日・9日・15日・22日・29日

【問い合わせ先】地域振興課 Tel 52-0111

## 森と水の源流館

### ●源流学の森づくり・山野草の里交流会

川上村で吉野川の源流を守るための森づくりを行う「源流学の森づくり」と、桜井市三谷で大和川の源流を守り、里山の整備を行う「NPO法人山野草の里」との活動・交流です。源流学の森を見学・体験します。

と き 9月16日(土)

ところ 源流学の森周辺  
(森と水の源流館集合・解散)

### ●吉野川紀の川しらべ隊 喜佐谷のシダをしらべよう

吉野川の支流、万葉集にも詠われた象きさの小川沿いのシダを調べます。

と き 9月30日(土)

じかん 午前10時～午後4時

ところ 吉野町宮滝～喜佐谷  
(吉野歴史資料館前集合・解散)

講 師 総谷文清さん (しだとこけ談話会)

定 員 20名 参加費 500円

※源流人会会員と川上村小・中学生は無料

【申し込み・問い合わせ先】

森と水の源流館 Tel 52-0888

## ホテル杉の湯

### ●星空観察プラン

新月の夜、白屋地区で星空観察会付きの一日限定プランです！

普段何気なく見ている夜空。川上村の夜空は環境光の影響が少なく、とても美しい星を観る事ができます。この機会に故郷の星をゆっくり眺めませんか。Vixen社の天体望遠鏡と双眼鏡をご用意し、ガイドが楽しくご案内します。

と き 9月20日(水)

定 員 先着20名

対 象 宿泊者限定

参加費 15,000円

(一泊2食付 税・サービス料込み)

【申し込み・問い合わせ先】

ホテル杉の湯 Tel 52-0006

大和牛&野菜たっぷり♡  
**BBQ**

2017  
**10/29**日  
11:00~17:30

**関西女子を  
大募集!**

**かわかみ  
♡  
コン**

焼きたて  
**ピッツア**

奈良県川上村  
**de 婚活**

縁を感じる村で  
おもてなしBBQ。

私たちが  
スタッフです!

**開催場所**  
奈良県川上村  
★無料送迎バスあり  
ご安心ください。

- 日時** 2017年 **10月29日(日)** 11:00~17:30
- 集合場所** 近鉄橿原神宮前駅9:30 → 近鉄大和上市駅10:00 → オートキャンプ場10:50
- スケジュール** オートキャンプ場でBBQ&ピッツア → 吉野杉の美林 → 国指定無形文化財「たる丸」制作見学 → 旧官弊大社 丹生川上神社上社で全員会話とマッチング
- 気軽な服装でお越しください ※終了後、近鉄大和上市駅、橿原神宮前駅まで送迎します
- 募集人数** 男性10名・女性10名
- 参加条件** 男性20代・30代・40代、女性20代・30代のいずれも独身の方  
女性の居住地は、村内外問いません。男性の居住地は、川上村もしくは、Uターンをしようと思っている方
- 参加費** 男性3000円・女性2000円 ※BBQ費用の一部に充てます

\QRコードはこちら!

**申込方法**  で検索 ナチュラル・スタイルのHPからお申し込みください  
<http://www.clubwith.tv/party/kawakami-nara/>  
**申込期限** 9月24日(日) ※申込多数の場合は事務局にて抽選します。



**お問い合わせ** 定住促進課 0746-52-0111 電話受付 8:30~17:15 teijyu@vill.nara-kawakami.lg.jp

主催：奈良県川上村 協力：ナチュラル・スタイル

**学校で**

**川上小学校の夏休み**

子どもたちは今年の夏休みも多くの体験を通してたくさんの人と関わり、充実した日々を過ごすことができました。子どもたちの活動にご支援いただいたみなさまに感謝申し上げます。

**7月21日・22日 加太小との交流**

来村した加太小5年生と、1日目は上多古川での川遊びを楽しみました。2日目は、「匠の聚」の写真家百々武先生による写真教室で交流しました。



**7月25日・26日 加太海浜学習**

海浜学習では、海水浴はもちろんのことバナナボートやスイカ割り、海釣りで盛り上がりました。磯観察や料理教室など、海を満喫しました。



**7月31日 野外観察学習会**

吉野郡主催の野外観察学習会に高学年の希望者が参加しました。屯鶴峯（香芝市）と万葉の森（太子町山田）で「たからもの」を見つけて帰りました。



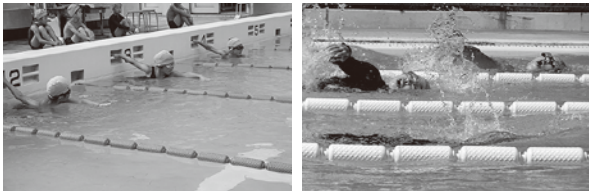
**8月1日 陶芸教室**

「匠の聚」の陶芸家山本喜一先生に教えていただき、ろくろと手ひねりで作品づくりに取り組みました。どんな作品ができあがるか楽しみです。



**8月8日・9日 県・校内水泳記録会**

校内水泳記録会では、自己記録を更新する児童がたくさんいました。また高学年は、県の水泳記録会にも参加し、自分の記録に挑戦しました。



**8月22日 親子文化鑑賞会**

やまぶきホールにて民話芸術座による「鬼の小づち」を鑑賞しました。演劇教室や児童の子役出演もあり、楽しい文化鑑賞会になりました。



川上小学校では、2学期も源流体験やかみセタイム学習発表会、遠足や運動会、マラソン大会など多くの体験的な行事を予定しています。

これらの活動を通して、子どもたち一人一人が、自分の力を十分発揮し、充実感や達成感をもったり、一つのことを成し遂げるには友だちとの協力が欠かせないことに気付いたりすることができるよう、教職員全員で指導し、支援していきたいと考えています。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

# 教育かわがみ

## 第56回 教育長通信

☆暑い中、先生たちも学習会

去る8月1日(火)午後、吉野郡(東)教育長会主催の新任教員合同研修会が川上村で行われ、今年4月に3町6村に着任した若い先生たちが集いました。この催しは、毎年夏休みの期間中に行われます。

午前中は、勤務しているそれぞれの町村の研修を受け、午後は一か所に集い、地域理解と新任教員相互の交流を兼ねて合同研修を行いました。



源流の村づくりの講義

「森と水の源流館」では、尾上忠大事務局長から川上村の環境保全についての講義を受けたあと館内を見学し、源流の村としての自覚と責任を持って生きる川上村民の精神性や、テーマ館の取り組みに感激していました。



森と水の源流館見学

次に訪れた「大滝ダム防災ステーション」では、大岡泰館長から大滝ダムが建設された契機や経緯、完成までに50年余の年月が費やされた理由などの講義を受けました。

その後、伊勢湾台風時や日本最大の降雨時の体験を通し、ダムが果たす役割の大きさを認識したようです。



大滝ダム防災ステーションで学ぶ



降雨体験

しかし、ダム建設に大きな犠牲を払い、今なお再建に厳しい現実を直面している川上村の現状を知

ると共に、紆余曲折を経ながらもダムを受け入れ、人造湖に「おおたき龍神湖」と親しみ込めた命名をしダムと共に生きることを決意した村民の思いを知り、受講者たちは複雑な思いを持って研修を終えた様子でした。

秋以降には、小中の代表者による公開授業を基にした研修を行い、実践披露と研究協議で一年間の研修を締めくくります。

◇ 9・10月の学校の動き

11(水)	10(火)	9(月)	8(日)	6(金)	2(月)	25(月)	23(祝)	22(金)	21(木)	18(月)	15(金)	13(水)	11(月)	
	振替休日	祝日 体育の日	第2回川上村民大運動会	運動会会場準備	運動会 予行	冬服更衣	振替休日	紅葉祭りハーサル	秋の遠足	祝日 敬老の日	立哨指導	運動会小中打合せ	生活点検	〈小学校〉
	3年学力テスト			英語検定			「紅葉祭」							〈中学校〉

# 森と水の源流館だより

September, 2017 vol.178

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

## 川上村の名所・旧跡 其の十八

「上多古川 (上多古)」… 天気の良い日に上多古川の谷の奥を望むと、大峯山寺の宿坊の屋根を見ることができます。上多古川上流、天川村に入った所に阿古の滝があり、理源大師聖宝 (832~909年) が、大蛇を退治したという言い伝えがあります。

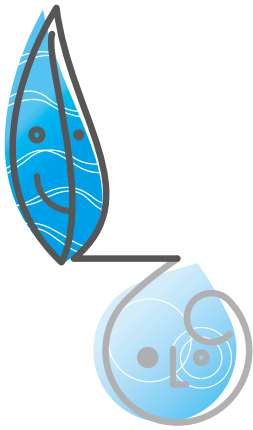
※村内の名所・旧跡を簡単に紹介します。エコツアーなどに活用できるように情報を充実させたいと思います。

## 8月の水源地の森

8月に入って少し雨が降り、水源地の森の生き物たちも元気が出てきたようで、生き活きとした美しい森の姿を少し取り戻しました。16日には地域づくりインターン事業の学生、17日は水のつながりプロジェクト源流トレッキングの参加者のみなさんが水源地の森を訪ね、森の大切さを学びました。



8月の水源地の森



雨が降ると、際だって生き活きと美しいのがコケ植物の緑です。コウヤノマンネングサは大型なので、日本人の自然観から草と名がついていますが、れっきとしたコケ植物です。このコケは高野山の霊草で、和名が付いた最初のコケ植物としても知られています。江戸時代の俳人、菊岡沾涼の『本朝世事談綺』(1734)には、「万年草、高野山大師の御廟にあり一とせに一度日あってこれを採と云此枯たる草を水に浮めて他国の人の安否を見るに存命なるは草。水中に活て生たるがごとし亡したるは枯葉そのまゝ也」とあります。「高野山にあるコウヤノ

マンネングサの乾燥したものを、遠方の人の安否を知るのに用い、水に浮かべて葉が開けば元気で過ごしているが、そのままだと亡くなっているかもしれない」ということです。その後、小野蘭山の『本草綱目啓蒙』(1803)、紀州藩編纂の『紀伊続風土記』(1839)にも同様の記述が見られ、古くから本種が日本人の自然観の中でしっかり認識されていたことがわかります。

高野山ではその後、これを土産物として採集して売る人が現れ、高度経済成長期には乱獲されたよう、普通だった本種は今や、わずかに見られるのみとなってしまいました。昔を知っている方は、林床にコウヤノマンネングサが茂る、かつての高野山の森の景観を現在に見ることはできなくなったと言います。

川上村には、このコウヤノマンネングサがまだたくさんあります。近年の苔ブームもあって、川上村の本種を採集して商品にした

いとの間合せも当館にありましたが、場所などの情報提供も含めてお断りさせていただきました。本種をあるだけ売ってお金に換えてしまえば、絶滅した時点でおしまいですが、本種の存在する美しい景観を見せたり、村の良さを知ってもらったりして、地域に貢献していただけるような取り組みならいつまでも持続可能です。

地域の資源は私たちの世代だけのものではなく、将来の世代にも引き継いでこそ、持続可能な利用ができます。資源を守りながら、生活の糧にしてそれを活かす。川上村で始まるうとして「源流ツーリズム」は、このような考え方が基で始まった「エコツーリズム」です。私たちが守っていく地域の宝物が、私たちを守ってくれます。



コウヤノマンネングサ



## 住まいるネット移住者紹介

『住まいるネット』では田舎暮らしを希望する都市部の方に、空き家を紹介しています。

これは、村内の空き家の有効活用や若者の移住・定住の促進、集落の活性化を図ることを目的としています。

平成25年からこれまでに21世帯53名（内小学生以下は16名）の方の移住があり、子どもたちの賑やかな声が増えた地区もあります。

今回は、かわかみらいふへの就職をきっかけに、北和田へ移住した三宅さんご家族を紹介します。



4月より三重県伊賀市から家族4人で移住してきました。

これまでに村の色々なイベントに参加したり、近所のおばあちゃんに大好きな柿の葉寿司の作り方を教わったりと、あつという間に5か月が経ちました。皆さんに温かく迎え入れていただき日々楽しく過ごすごことができており、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

かわかみらいふに勤務しておりますが、少しでも村民の方たちのお力になれるように、頑張りたいと思います。

まだまだ分からないことや知らないこともたくさんあります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導いただくと嬉しく思います。

今後とも家族一同どうぞよろしくお願いいたします。

## 求む！

### 空き家バンク登録物件

村では、空き家バンクへの登録相談を随時受け付けています。お気軽にお申し込みください。

#### 【問い合わせ先】

定住促進課 Tel 52・0111

## 村づくり塾 活動中です！

川上村の暮らしや未来について、学び・考える「村づくり塾」です。村内見学や講演会、ワークショップなどを活動内容としています。基本的には月に1回、役場会議室に集まり意見交換を実施していますが、「村の良いところを発見し、共有しよう」との話し合いがあり、勉強会や視察会を計画しました。まだ、知らない川上村の一面を一緒に発見しませんか？今後のスケジュールは次のとおりです。

### 村づくり塾活動スケジュール

- 9月21日（木）役場第二会議室  
村の勉強会①  
「林業6次産業化について」  
講 師：上田一仁 参与
- 10月15日（日）  
村内視察ツアー①高原方面  
ぱくぱく館、大天井滝  
集合時間：午前9時30分
- 11月25日（土）  
村内視察ツアー②粉尾方面  
樽丸工場、大塔宮神社 他
- 12月  
村内視察ツアーの報告・反省会
- 1月  
村外視察ツアー（予定）

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問い合わせください。ご参加をお待ちしております。

#### 【問い合わせ先】

定住促進課 Tel 52・0111



意見交換会



2016年11月開催 バーベキュー検定

～川上村既存木造住宅耐震診断支援事業のご案内～

# 耐震診断

を受けてみませんか？

あなたの  
住まいは  
大丈夫？

地震から  
大切な命を  
守るために…

多くの犠牲者を出した平成7年の阪神・淡路大震災における犠牲者の9割近くが住宅の倒壊による  
圧死・窒息死によるものでした。

地震から家族と財産を守るには、強いわが家にするのが不可欠で、その第一歩がわが家の健康診  
断ともいえる「耐震診断」です。

川上村では、「耐震診断」にかかる費用の全額を助成する事業を行っています。

この機会に「耐震診断」を受けてみてはいかがでしょうか。

## 1. 助成の対象となる住宅（次のすべてを満たすものが対象となります）

- ・村が定める区域内にある木造住宅のうち、昭和56年5月31日以前に着工されたもの
- ・延床面積が250㎡以下でかつ、階数が2以下のもの（地階を除く）

## 2. 助成額

- ・1つの対象住宅にかかる費用の全額を村が助成します。

## 3. その他（留意事項）

- ・耐震診断を受ける前に、申し込み手続きをしていただくことが必要です。
- ・上記のほかにも各種要件がありますので、林業建設課までお問い合わせください。

**受付期間 10月2日(月)～10月31日(火)**

【問い合わせ・申し込み先】 林業建設課 TEL 52-0111 FAX 52-0345

## 困ったら 一人で悩まず 行政相談

10月16日から22日までの一週間は行政相談週間です。「相談無料」「秘密厳守」ですので、社会福祉、医療保険や年金、公共施設、役所での手続きなど、小さなことからお気軽にご相談ください。

また毎月第3月曜日には、役場にて行政相談員の小西都さんによる相談会も実施しています。予約制ですので詳しくは役場までお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

行政相談受付窓口 TEL 0570-090110  
総務税務課 TEL 52-0111

## 『在宅介護者の集い』参加者募集！

### 日帰り遠足

日頃の介護で不安をかかえている方、お悩みの方は是非ご参加ください。

みんなで集まってリフレッシュしませんか。

**と き** 10月13日（金）  
**と ころ** 田原本・檀原方面  
**昼 食** 手造り豆腐と湯葉料理の店  
**参 加 費** 無料  
**申 込 期 限** 9月27日（水）

【問い合わせ先】 社会福祉協議会 TEL 52-0294



**国文祭  
障文祭  
なら2017**

9.1(FRI)→11.30(MU)

県内全39市町村で  
103事業を開催！

### 総合フェスティバル

〈オープニング〉  
世界遺産「東大寺大仏殿」で華やかに開会式  
9月2日 会場：東大寺大仏殿前  
〈フィナーレ〉  
大和のまつり 11月25日 会場：五條市上野公園総合体育館  
閉会式 11月26日 会場：奈良県文化会館



### 国際交流事業

「NARA・国際交流フェスティバル」など、音楽等による交流で多様な日本文化を発信

やまとし  
うるはし  
おもしろし



原画「芸術の女神」 絹谷幸二(洋画家)

### 障害者交流事業

「体感する奈良！心・感覚展」など、障害のある人もない人もともに楽しめるイベントを実施

### シンポジウム事業

「フォーラム・NARA」など、様々なテーマでシンポジウムを開催

### 分野別フェスティバル

伝統文化・歴史文化・音楽・美術・演劇など、奈良県内全39市町村で多彩な事業を展開

**第32回国民文化祭・なら2017**  
**第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会**

全国初の一体開催！奈良から新たな文化を発信

観光・宿泊のご相談はトラベルセンターへ TEL.0742-23-4891(平日10:00～18:00) <http://nara-kokushoubun.jp/> 国文祭なら検索

主催：文化庁、厚生労働省、奈良県、第32回国民文化祭奈良実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、市町村、市町村国民文化祭実行委員会、文化芸術団体 協賛：第32回国民文化祭奈良県実行委員会事務局、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局(奈良県地域振興部国民文化祭・障害者芸術文化課) TEL.070-2287-3419

# 俳句

川上俳句会

矢野典子選

特選 汗のシャツ枝に乾かず袖の昼  
住川 準典(武木)

〔評〕 袖人の昼。午前中によく働いた仕事着は絞れる程の汗。一服の間でも枝にひろげて乾かし、午後の仕事に備えているのである。生活(労働)と季節感の備わった佳句。

特選 垂乳根の汗滲ませて診察日  
阪本 蓉子(東川)

〔評〕 〈垂乳根〉で〈母親〉と言いとめられている。しかも汗を滲ませて診察にやって来ているのだ。象徴的な表現で物事を伝達出来る。短詩形の俳句には何より大切な部分に成功している。

特選 どんな事もして来ましたと生身魂  
前田 景子(大滝)

〔評〕 大変なご苦労をして来られたのだ。まして、八月出句分である。そこには、戦争にまつわる恐怖、食糧難、子育てなど、さぞかし大変であったろうと思うと、この一句は重い重い意義につき当るのである。

佳作 石垣に三尺はある蛇の衣  
新子谷生子(北和田)

明星の光大きな夏の朝  
辻井 清子(大滝)

入選 七夕の短冊の色とりあへり  
望月 彰美(迫)

山霧や豪雨去りたる杉林  
松本 全代(大滝)

汗かきつ異人と会話の孫六つつ  
上田 一郎(伯母谷)

風ごとに梅干す匂ひ流れ来て  
枅 恭子(東川)

てんいち先生 9月第3 敬老の日 9月18日 敬老の日

(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

## 診療所からのお知らせ

【整形外科診察日】  
と き 9月20日(水)  
受付時間 午前8時30分～11時30分  
【巡回診療日】  
と き 9月26日(火)  
受付時間 午後2時～3時30分  
ところ ふれあいセンター(北和田)  
※受診される方は保険証をご持参ください。  
【問い合わせ先】 川上診療所 Tel 52-0344



## 役場からのお知らせ(9月1日付)

◎奈良県広域消防組合からの派遣職員  
総務税務課  
危機管理監 大前 太伸(野迫川分署長)  
◎人事異動(兼務)  
危機管理職員  
泉 寿一(議会事務局長)  
杉本 晃一(地域振興課副課長)  
丸井 祐樹(川上診療所事務長)  
辰巳 龍三(総務税務課副課長)  
堀谷 敦(総務税務課主事)  
◎採用  
総務税務課  
主事補 山崎 佳憲

## 応急手当普及員再講習のご案内

平成29年度の応急手当普及員再講習を吉野消防署において開催します。  
受講希望の方は、下記の要領でお申し込みください。  
●応急手当普及員再講習とは  
応急手当普及員の資格取得後、資格認定日から3年を過ぎない方に対する資格を更新するための講習です。奈良県広域消防組合の認定を受けている方を対象としています。講習時間は3時間で費用は無料です。

応急手当普及員再講習(定員20名)  
12月2日(土) 午前9時～12時まで  
講習開催場所  
吉野消防署(吉野郡吉野町大字宮滝17-1)  
申し込み期間  
10月1日(日)～11月27日(月)  
実施要領及び申し込み用紙  
奈良県広域消防組合ホームページにてご確認ください。  
また、申し込み用紙もダウンロードいただけます。  
<http://www.naraksk119.jp/>

【申し込み・問い合わせ先】  
吉野消防署 救急課 Tel 0746-32-1011

## 昆虫トークショーを開催

8月13日に、現在森と水の源流館で開催されている「川上村のばった Batta to バッタ展」の出張ミュージアムトークをふれあいセンター（北和田）にて開催しました。昆虫生態写真家の伊藤ふくお氏を講師に迎え、ゴイシツバメシジミをはじめとする東部地区に生息する昆虫についてのお話をいただき、その後は周辺での昆虫ミニ観察会も実施し、虫取り網の正しい使い方を教わった子どもたちは最後には上手に虫を取れるようになり、立派な昆虫少年になっていました。



上手に取れたかな？



伊藤ふくお氏による  
昆虫トーク

## お誕生日おめでとう！ 「ますます元気に大きく育ってね」

広報の発行月に誕生日を迎える小さな子どもたちを紹介していきます。子どもたちは村の宝です。皆さん大事に見守っていきましょう。

※年齢表記は今月の誕生日で迎える年齢を記載しています。（敬称略）



しまたに ひかり  
嶋谷 光莉（高原）  
（平成28年9月9日生まれ・1歳）

初めての誕生日おめでとう！  
いっぱい遊んで笑って泣いて愉快地に生きよう♡  
これからもよろしくね。

**HAPPY BIRTHDAY**

北海道から九州のブナ帯、針葉樹林帯に分布する落葉低木。虫が葉を好んで食べるので、穴あきの葉ばかりになるところから、ムシカリ（虫狩）の別名があり、こちらの方が川上村では通る。花期は4〜6月で、アジサイと同じように大きな5枚の花弁を持つのは装飾花で、真の花は内側の白色の小さな目立たない方である。

## オオカメノキ

（大亀の木）



## かわかみの草花

## 村の人口

8月31日現在

人口総数	1,488人（-11人）
男	701人（-7人）
女	787人（-4人）
世帯数	828世帯（-5世帯）

8月中の異動

転入	0人	転出	8人
出生	0人	死亡	3人

10万円 牧山 幸史（西 河）  
社会福祉協議会へ次の方から  
善意が寄せられました（敬称略）  
亡き父の供養として

山谷 敏（高原）  
8月17日 84歳

上平 二三（高原）  
8月17日 97歳

おくやみ  
（敬称略）



広報かわかみ

平成29年9月11日発行

発行 奈良県川上村  
編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村

大字迫1-3335番地の7

TEL 0746-1521011

ホームページアドレス

http://www.vill.kawakami.nara.jp

メールアドレス

soumu@vill.nara-kawakami.jp